

1. 第7回にじの会総会開催

平成24年10月13日、山形県立保健医療大学にて定例総会が開催されました。ご多用にもかかわらず参加して下さったみなさま、ありがとうございました。

2. 第10回山形県立保健医療大学同窓会代議員会報告

平成24年7月27日、山形県立保健医療大学同窓会代議員会が行われ、にじの会から多数の役員が参加し、下記について報告および承認がなされました。

・大学同窓会活動の経過

- ①大学・大学院入学者、および保護者に対する同窓会の趣旨説明・会費納入のお願い
- ②会員加入状況および会費納入方法（口座振込・直接払い）について
- ③式典における電報の掲示
- ④式典・謝恩会への大学同窓会および各分会の会長による出席
- ⑤卒業生・修了生への卒業記念品贈呈
- ⑥大学同窓会および各学科同窓会ホームページの開設など

大学同窓会の入会者が年毎に減少していることから、その対策として、各分会および大学職員によるPR活動のあり方についての意見交換がなされた。

3. 第7回総会記念薄井坦子先生特別講演会開催

にじの会総会に引き続き、前宮崎県立看護大学学長薄井坦子先生を講師に招き、「揺るぎない看護のカーナインチンゲール看護論の科学的実践—」というテーマで第7回総会記念特別講演会が行われました。この講演会は、前回の第6回総会記念講演会、および平成23年度にじの会主催薄井先生特別講演会に参加した県内外の看護職者から、ぜひまた薄井先生のお話をお聴きしたいという切なる要望に、にじの会がお応えしたものです。

今回の記念講演会には、会員をはじめ県内全域から看護職者や看護学生約350名の参加があり、改めて薄井先生の人氣の根強さがうかがえました。

講演内容は、現在、現場の看護師が疲れ果てているために、本来の看護を見失っていること、看護師が看護の対象である患者を見ていないことなどを発端に、

患者をよく見るとは？理論に基づき、看護職自らが自分のアタマで思考するとはどういうことか？問題の本質はなにかを見抜き解決していく専門職としての看護実践とは？などなど、すぐにでも看護実践に活かせる濃い内容のお話でした。

ナイチンゲール看護論の中に看護の本質を見つけ、「看護とは」を探求し現在まで築き上げてこられた先生ならではのお仕事について、実際の事例を使いながらわかりやすく話してくださいました。

講演後は、多くの参加者から「薄井先生の話はいつ聴いても面白い、業務ではなく、患者のための看護がしたくなった」「また呼んでいただけないか」「あの講演会だったら何回でも参加する」などの声が聞かれ、にじの会としても企画者冥利に尽きる講演会となりました。

4. 上柳祭（大学祭）への参加

平成23年6月17～18日に行われた上柳祭において、にじの会のPR活動を行いました。「学院歌」CDを終日演奏および販売、にじの会会誌などを展示しました。2日間で、学院、医療短大、医療大学卒業生を含む多くの方々が足を止め、展示物に興味をもってくださいました。なかでも、学内で流れる学院歌が聞こえ懐かしい歌につられて同窓会コーナーにたどり着いたと、学院の卒業生たちが尋ねてくれたことはなにより嬉しいことでした。また、本学学長も同窓会コーナーに立ち寄り、学院歌に興味を示し学院創設から大学設立に至る歴史に耳を傾けてくださいました。今後もあらゆる機会を活用し、にじの会の伝統とプライドを伝えていこうと改めて思いました。



～編集後記～

薄井先生は、後輩に伝えたいこととお話したいと、今回もにじの会のためにご講演を快諾してくださいました。会員および山形県の看護師たちの実践能力向上のための同窓会活動を支えてくださるすばらしい先生方が身近に存在することに感謝し、にじの会の活動をがんばろうと思うこの頃です。（か）